



しょう がっ こう  
笑・笑・幸 通信

「いい顔」「いい声」「いい心」

No.21

【発行日】令和5年12月1日

【発行者】校長 金井 哲也

## 6年生 戦争遺跡見学

11月27日（月）の午前中、6年生は社会科見学で、口タコ（御勅使河原飛行場）の戦争遺跡巡りをしてきました。講師には、南アルプス市教育委員会の齊藤秀樹さんをお願いし、飛行機を敵の爆撃や爆風などから守り、隠しておく「掩体壕」と呼ばれる格納施設跡や、物資の保管や飛行機部品の地下工場にするためだったといわれている「横穴壕跡」などを見学しました。また、当時の様子を知っている地域の方々にもお話を伺うことができ、とても貴重な見学になりました。世界中には、現在でも戦争をしている地域があることも改めて考えながら、平和について考えるきっかけになってくれることを願っています。



## 3年生 消防署見学

11月27日（月）の午後に、3年生は南アルプス市消防本部へ見学に行ってきました。消防署ではポンプ車や水槽車、救助工作車など様々な消防自動車があることを説明していただいたり、消火や救助などの時に使用する道具を、実際に見せていただいたり持たせていただいたりしました。また、救急車の中に入れていただき、中にはストレッチャーに乗せてもらった人もいました。他にも、実際の火事や消火活動の様子なども、映像を見ながら教えていただきました。私たちのために活躍してくれている消防士さんたちに、感謝の気持ちを忘れないでいてほしいと思います。



## 4～6年生 防災教室

11月28日（火）の2校時に、4～6年生は体育館において防災教室を行いました。講師には、元南アルプス市社会福祉協議会職員の小野康樹さんをお招きし、東日本大震災や熊本豪雨などの救助ボランティアでの体験をお話ししていただきました。たくさんの被害状況の写真を見せていただきながら話をいただき、子どもたちはとても真剣に話を聞いていました。「災害は平等に襲い、そして格差を直撃する」という言葉が、とても印象的で、小野さんからは、「意識（気持ち）を持つこと」の大切さを教えていただきました。「自分の命は、自分で守る」ことが大切ということが良く言われます。学校でも、これからの防災教育に生かしていきたいと思います。

